

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公開番号】特開2012-108071(P2012-108071A)

【公開日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2010-258716(P2010-258716)

【国際特許分類】

G 0 1 R 21/00 (2006.01)

G 0 1 R 21/06 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 21/00 Q

G 0 1 R 21/06 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月1日(2013.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 7】

また、電圧出力端部80の出力電圧Voutを利用して電力情報PIが生成される。入力電圧Vinは例えばトランジスタ31や電力線5に接続された他の装置の動作によるノイズを含む場合があるのでに対し、出力電圧Voutは電源回路10によって生成された安定的な電圧である。かかる安定的な電圧Voutを利用して電力情報PIを生成することにより、電力情報PIの確度を向上させることができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 1】

データ出力端部92は電力線5(図1参照)から受信したデータDrを取り出すための部分である。例えば本体回路2(図1参照)が電源装置6Dを利用してPLCを行う場合、データ出力端部92は本体回路2に接続される外部接続端部にあたり、データ出力端部92を介して本体回路2へ受信データDrが与えられる。

【手続補正3】

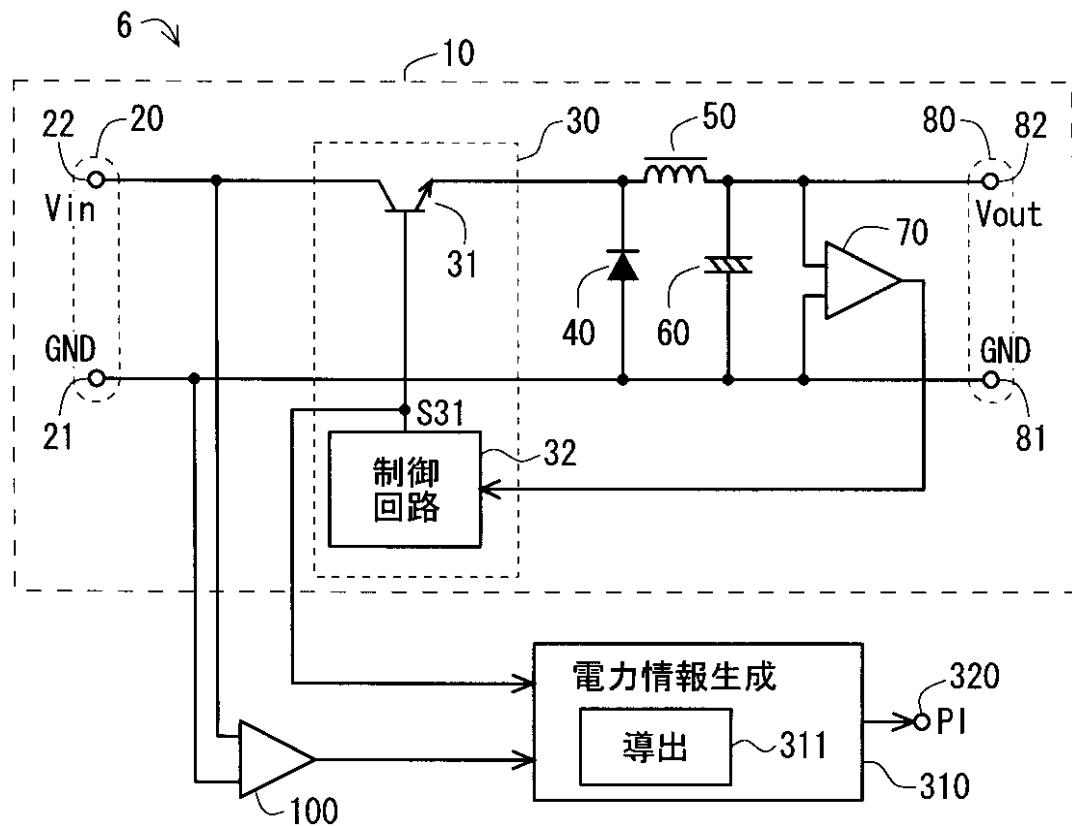
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】



【手続補正4】

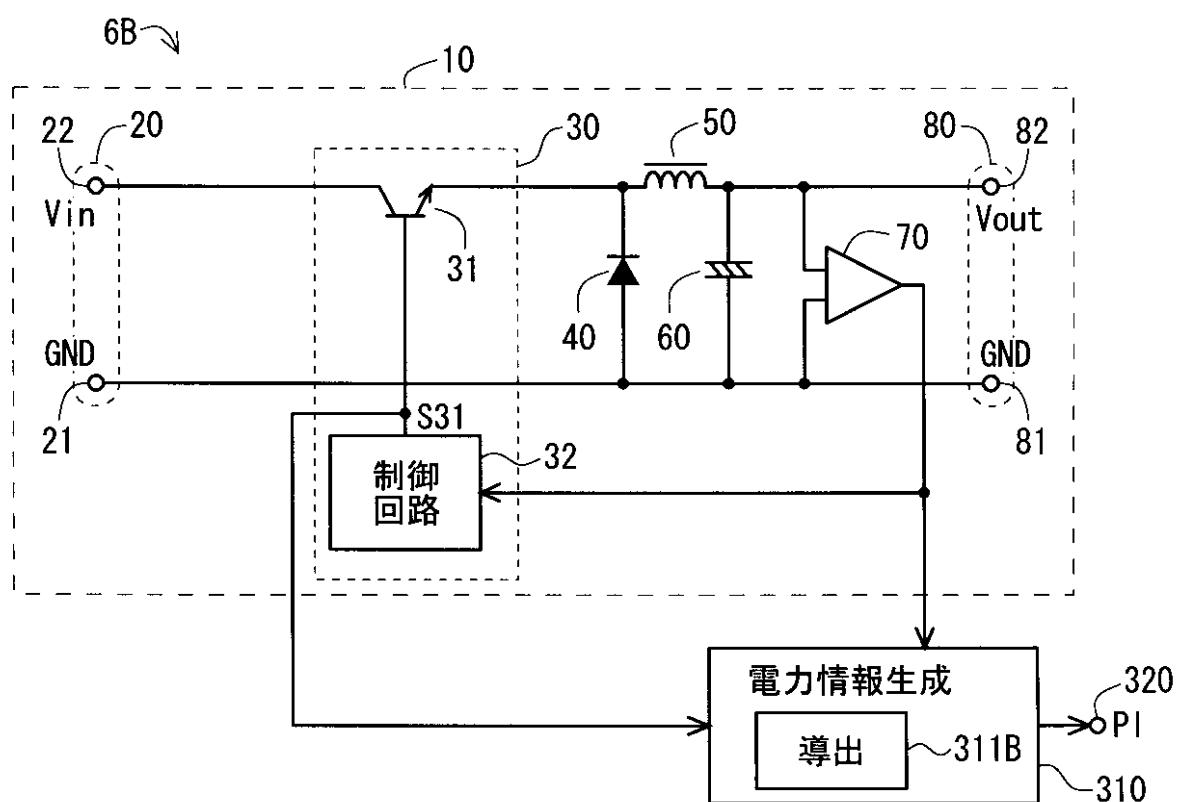
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】



【手続補正 5】

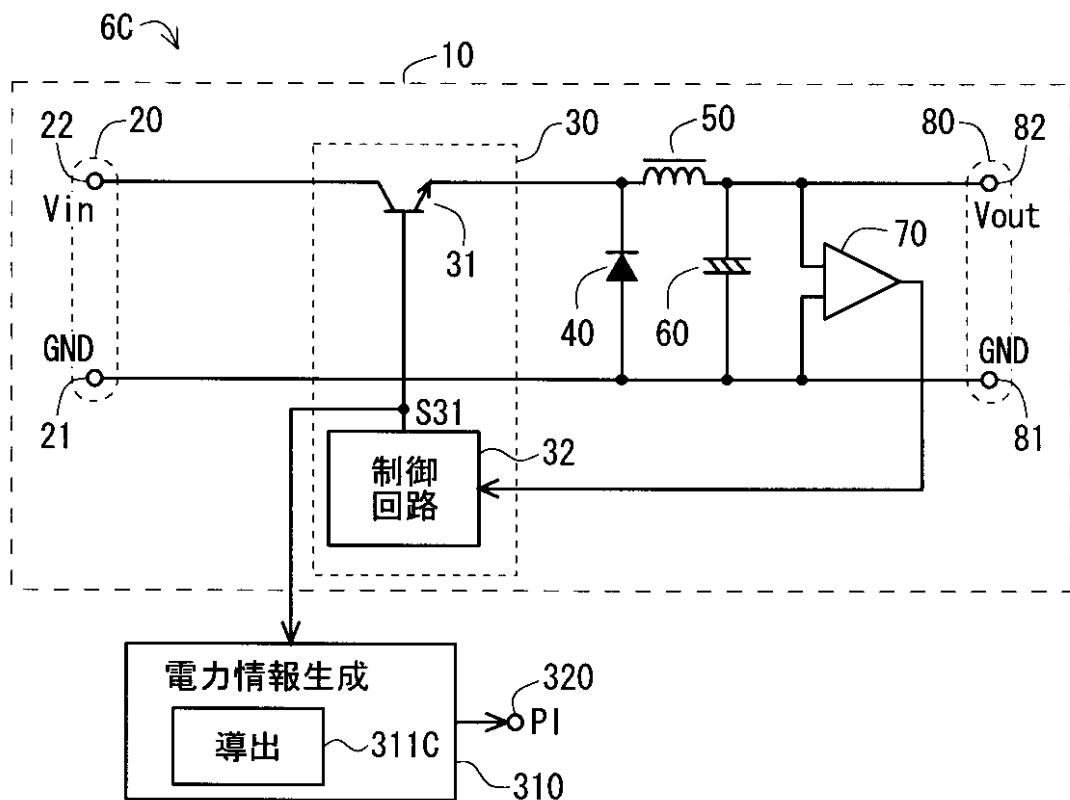
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 6】

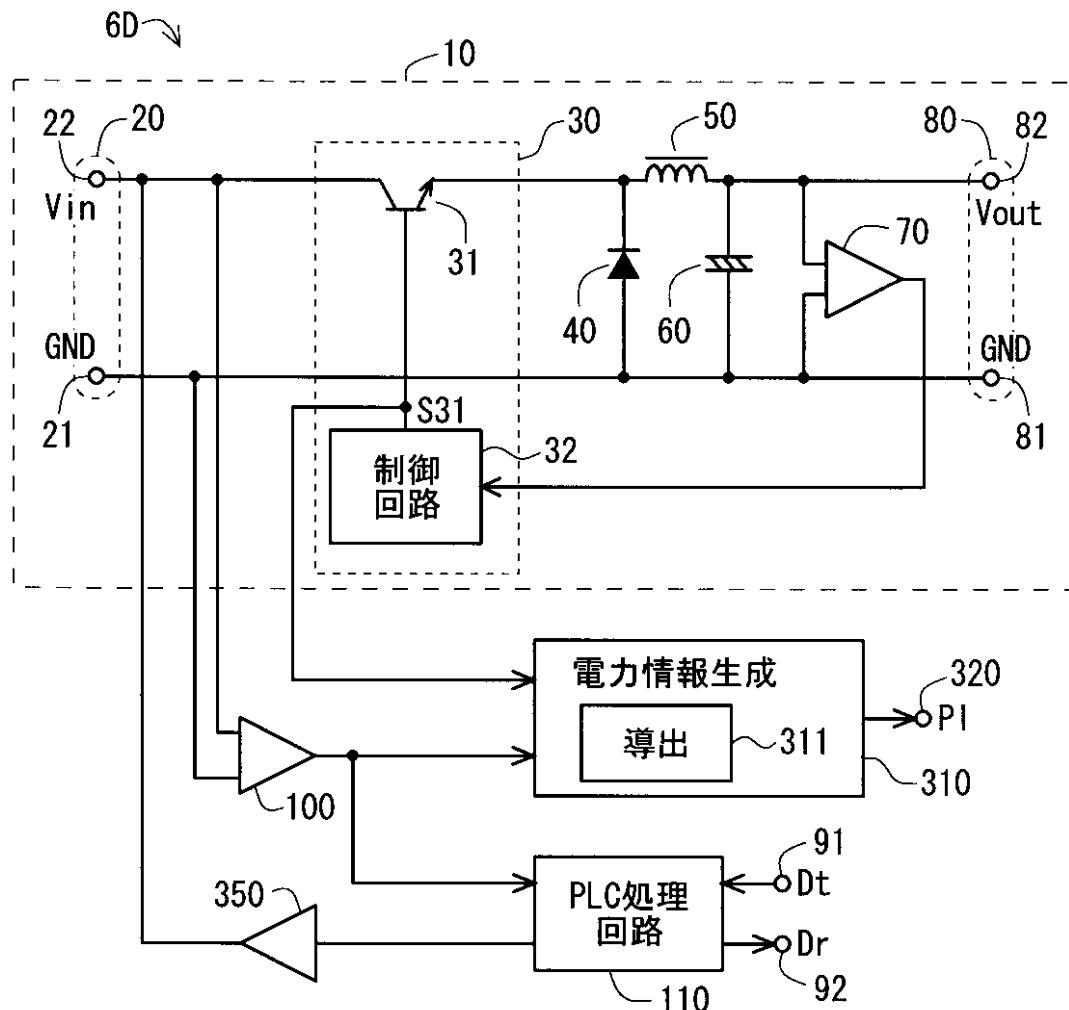
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】



【手続補正 7】

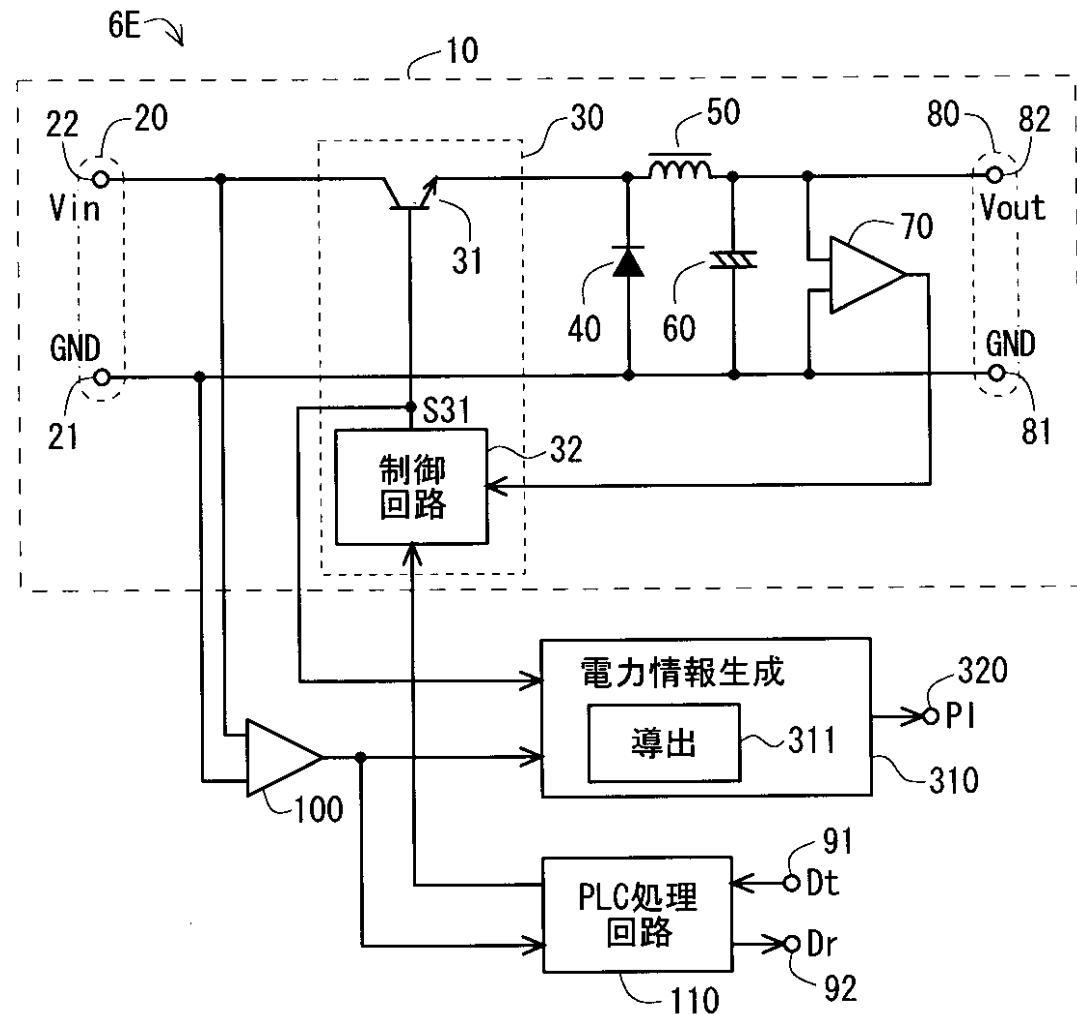
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】



【手続補正 8】

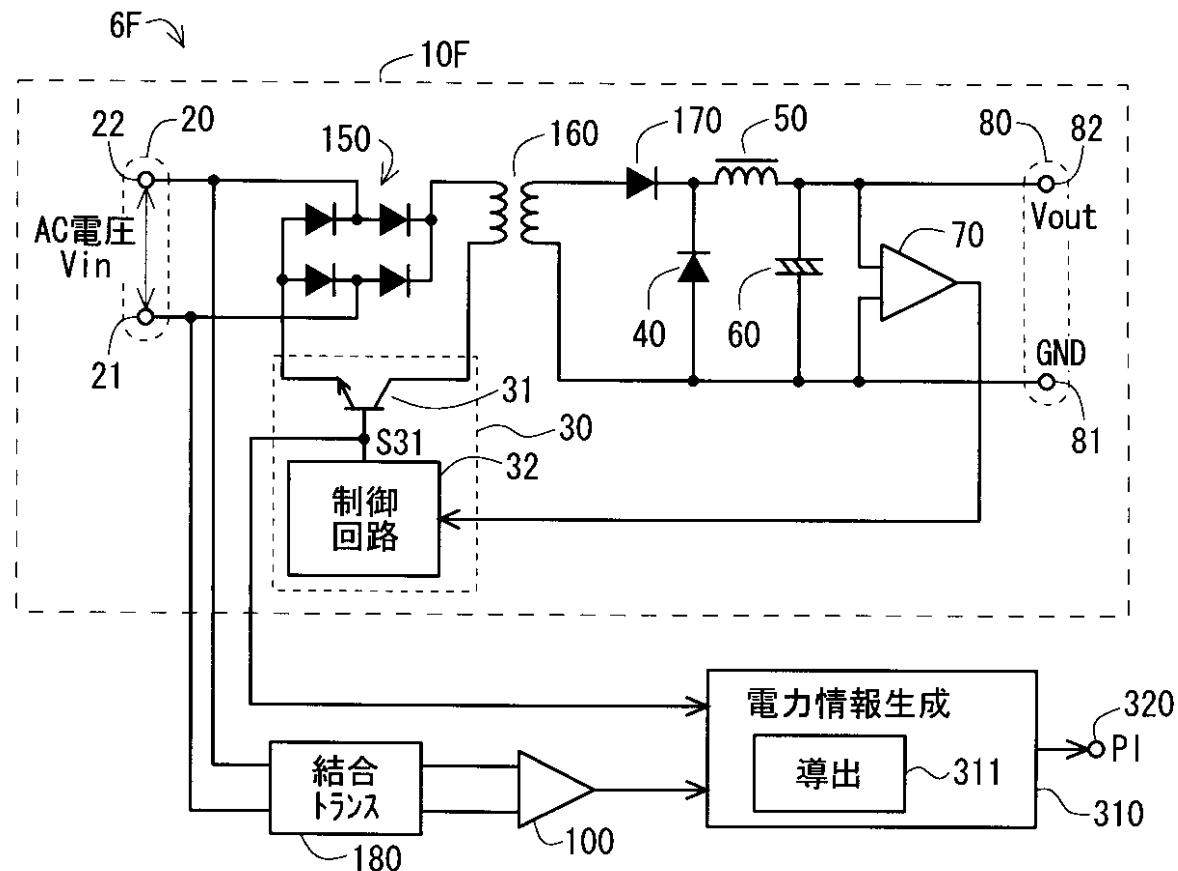
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図9】



【手続補正9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 10】

